

セルソープ Cellsorb

PREMIUM OIL ABSORBENT

from U.S.A



セルソープ 油吸着材

原料に《天然セルロース 100%》を使用し、人と地球にやさしい油処理材です。油流出事故・機械油の処理・食品工場・厨房などで絶大なる効果を発揮！

油処理の決定版！！

Cellsorb には優れた特性があります

- 天然セルロース 100%が原料
- 吸収した溶液は再溶出しない
- ガソリン等も吸収し空中で引火しない
- 非毒性のため安心して作業可能
- 静電気を原因とするスパークが発生しない
- 100%生分解可能
- 可燃性なので燃料としての利用も可能

環境にやさしい
油吸着材



アメリカからやって来た
画期的油吸着システム！

発売元

ユニバース開発株式会社



セルソープ 油吸着材

グリストラップ（油水分離槽）に使用した例



河川等での油流出に使用した例



製品データ

- ・成分……天然セルロース
- ・外観……綿状
- ・臭い……無臭
- ・毒性……なし
- ・比重……1立方センチメートル当たり 0.05g
- ・吸収能力……食用油の場合、1kgで約18リットルを吸収
エンジン油の場合、1kgで約20リットルを吸収
- ・保存期間……制限なし（乾燥した場所）

Cellsorb とポリプロピレン製品との比較

	セルソープ	ポリプロピレン製品
使用時	<ul style="list-style-type: none"> 吸収量が多い 保持力が強い（再溶出しない） 静電気を帯びない 使用温度範囲が広い 	<ul style="list-style-type: none"> 吸収量が少ない 再溶出する 帯電する 低温では吸着しない
使用後の処分	<ul style="list-style-type: none"> 処分方法が幅広い 再溶出しない 低温で燃焼する（燃料として使用可能） 通常の焼却炉による焼却可能 	<ul style="list-style-type: none"> 処分方法が制限される 再溶出する 燃焼時に有害ガスを発生する 高温をだすので焼却炉を傷める

発売元

ユニバース開発株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-10-9 富士ビル 2階
TEL 03 (5615) 8546 FAX 03 (3830) 3701

お問い合わせ

株式会社 きゃん電研

本社 〒901-0155 沖縄県那覇市金城2-3-5 101号室
西原支店 〒903-0112 沖縄県中頭郡西原町字我謝490-1
Tel: 098-987-4001 Fax: 098-987-4002

SDS (安全データシート)

改定 7.5.12

1 製品及び会社情報

製品の名称：	セルソープ (浮上油吸着材)
会社情報	
会社名：	有限会社バイオフィューチャー
住所：	〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-37 フラットワタ 101
電話番号：	03-5272-1678
ファックス番号：	03-5272-1679
推奨用及び使用上の制限：	水面への流出油の吸着材

2 危険有害性の要約

GHS 分類区分

物理化学的危険性：	区分外
健康に対する有害性	
急性毒性：	区分外
皮膚腐食性及び刺激性：	区分外
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性：	区分外
皮膚感作性：	区分外
生殖細胞変異性：	区分外
発がん性：	区分外
生殖毒性：	区分外
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)：	区分外
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)：	区分外
環境に対する有害性	
水生環境有害性 (急性毒性)：	区分外
水生環境有害性 (慢性毒性)：	区分外

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起標記語：	区分外
危険有害性情報：	区分外

注意書き

[安全対策]：	熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 経口しないこと。 目に入れないこと。 取扱い後は良く手洗うこと。
[応急措置]：	火災の場合には消火に指定された方法を使用すること。 経口した場合、医師の診断/手当てをうけること。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断/手当てをうけること。

	気分が悪いときは、医師の診断/手当てをうけること。
[保管（貯蔵）]:	換気の良い涼しい場所に置くこと。 直射日光を避けること。
[廃棄]:	容器は国や地方自治体の規則に従って廃棄すること。
重要な危険有害性:	なし

3 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区別:	単一物質
化学名又は一般名:	油吸着材
成分情報:	段ボールを再生処理したセルロース素材
その他成分情報:	なし
GHS 分類に寄与する危険有害成分:	なし

4 応急処置

暴露経路による応急措置

皮膚に付着した場合:	製品に長時間触れて皮膚が赤くなるなどの炎症を起こした場合は、汚れた衣類を脱ぎ、水と洗剤で十分に洗い流す。炎症が続く場合は、医師の診断/手当てをうけること。
目に入った場合:	清浄な流水で 15 分以上目を開いた状態で洗い流すこと。異常があれば医師の診断をうけること。
飲み込んだ場合:	口内を水ですすいだ後、水を十二分に飲む。不快感が続く場合は、医師の診断をうけること。
吸引した場合:	呼吸困難が生じた場合は、新鮮な空気のある場所に移動する。症状が続く場合は、医師の診断をうけること。

予想される急性症状及び遅発性症状:

吸引した場合、アレルギーや呼吸器系疾患の恐れ

応急措置をする者の保護: 保護メガネ、防塵マスクの着用

5 火災時の措置

消火剤:	水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂
使ってはならない消火剤:	なし
特定危険有害性:	燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、刺激臭を伴う煙が発生する恐れ
特有消化方法:	木材の燃焼と同様の扱いで消火活動に当ること。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 初期の火災には、粉末・二酸化炭素、乾燥砂などを用いること。 消火後も大量の水で十分に冷却すること。
消火を行う者の保護:	消火作業の際は、空気呼吸器を含め適切な防護服（耐熱性）を着用

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項:	経口摂取を避けること。 着火源をすべて取り除くこと。
環境に対する注意事項:	環境に危険をもたらすことはないが、下水に流すなど、環

回収、中和、封じ込め及び浄化の方法： 環境に放流する事は避けること。生分解可能
二次災害の防止策： 不要
付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を用意すること。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 火気厳禁
安全取扱い注意事項： 取扱後は手を洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

技術的対策： 保管場所に換気の設備を設ける。
粉塵が飛び散らないように注意する。
混触禁止物質： 高温物、強酸化剤、強アルカリ剤
保管条件： 冷暗所に密閉して保管する。
加熱されたり、直射日光が当たらない場所に保管する。
容器包装材料： 破損や漏れの無い容器を使用する。

8 暴露防止及び保護措置

許容濃度（暴露限界値、生物学的暴露指標）： 該当せず

保護具

呼吸器の保護具： 通常の使用環境下では防塵マスクは必要ない。高濃度の粉塵が発生する可能性がある場合には、取り換え式半面防塵マスク、又は、HEPA フィルター付き半面防塵マスクの使用が望ましい。防塵マスクの規格は国家検定に準ずる。
手の保護具： 通常の使用環境下では手袋は必要ないが、大量に扱う場合には、布手袋を着用する。
眼の保護具： 通常の使用環境下では目の保護具は必要ない。大気中の粉塵量が多い場合には、保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具： 通常の使用環境下では通常の作業着で問題無いが、大量に扱う場合には、つなぎ作業服が望ましい。
設備対策： 通常の使用では特別な換気は必要ない。閉鎖空間で大量に扱う場合には、大気中の粉塵量を出来るだけ少なくする為に排気装置を使う必要がある。
衛生対策： 取扱い後は手をよく洗うこと。
取扱い場所の近傍では飲食、喫煙の禁止。

9 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質の基本情報

外観： 薄茶色の繊維状物質

臭い：	無臭
引火点：	なし
水溶性：	不溶性
発火点：	260℃
蒸気圧及び蒸気密度：	該当せず
揮発性：	該当せず
融点：	該当せず

10 安定性及び反応性

安定性：	通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性：	通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件：	裸火、火花との接触 直射日光を避け、冷暗所に保管する。 過度の熱、強酸、強アルカリの接触を避ける。
混触危険物質：	着火源、高温物、強酸化剤、強アルカリ剤、との接触
危険有害な分解生成物：	なし

11 有害性情報

急性毒性：	皮膚、目、呼吸器への軽度な刺激の可能性はあるが、無害とされる。
皮膚腐食性及び刺激性：	繰り返し触れた場合には、皮膚が赤くなる可能性がある。 過剰な暴露により、既往症の悪化や皮膚が敏感になる可能性がある。
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性：	粉塵が物理的に刺激を与え、目が充血する可能性がある。
皮膚感作性：	区分外
生殖細胞変異原性：	区分外
発がん性：	区分外
生殖毒性：	区分外
特定標的臓器特性（単回暴露）：	区分外
特定標的臓器特性（反復暴露）：	区分外
その他の有害性情報：	なし

12 環境影響情報

製品の環境影響情報：	影響なし
成分の環境影響情報：	影響なし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

本製品はリサイクルしたセルロース素材であり、未使用の製品は可燃ごみとして処理出来る。
本製品は油吸着後、関連法規制及び地方自治体の基準に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

関連法規制並びに地方自治体の基準に従って適切に処分を行う。

14 輸送上の注意

国際規制： 該当せず。

国内規制

陸上規制情報： 消防法の規定に準ずる

航空規制情報： 該当せず。

海上規制情報： 該当せず。

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号： 該当せず

輸送上の対策： 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

労働衛生安全法

大気汚染防止法

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

16 その他の情報

なし

【注意】 本 SDS は、労働安全衛生法による作成義務はありませんので、自主的に提出するものです。本 SDS は、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いには注意して下さい。使用者は固有の目的に応じ情報、製品の適正を調査すること。本 SDS は如何なる法律違反や、既存特許に該当する発明を真似ることを承認、推奨するものではありません。